

[パンジー新品種の利用拡大]
パンジー移植時葉枚数の違いが生育に及ぼす影響

上原恵美
(江戸川分場)

【要約】移植時に葉の展開枚数が少ないほど開花を早くできる。本葉2枚程度までに移植する方が、圃場利用期間が短くできる。

【目的】

江戸川分場では、パンジーのセル苗移植はメトロミックスを充填したセルトレイで本葉2枚展開時に行うことを慣行栽培としているが、管内農家にはさらに葉枚数が進行してから移植している事例がある。そこで、本試験では移植時の葉枚数がその後の生育に及ぼす影響を明らかにする。

【方法】

1. 播種は2012年8月2日に288穴セルトレイに1粒/1穴で、幼苗期鉢上げを想定して固化培地(商品名:エクセルソイル)と慣行培地(メトロミックス350,以下メトロと表記)に行った。移植は、試験区の通り行い、それぞれ10.5cm黒ポリポットに行った。鉢用土は、江戸川分場標準用土(赤土:腐葉土:無調整ピートモス=3:1:1=容積比)を使用した。基肥は化成肥料(マグアンプK中粒)5kg/m³,過リン酸石灰3kg/m³,苦土石灰0.2kg/m³を施用した。追肥は随時、液肥(20-20-20)を1000倍希釈で行った。
2. 試験区:メトロ培地;本葉2枚時(慣行),本葉4枚時
固化培地;子葉展開時,本葉2枚時,本葉4枚時
3. 供試品種:F₁デルタプレミアム トゥルーブルー, // ピュアゴールデンイエロー,
// ピュアオレンジ

【成果の概要】

1. 移植は葉枚数が同じ区は、固化培地もメトロ培地も同日に行った。本葉4枚時の移植苗は、固化培地もメトロ培地も根の先端がやや茶色に変色していた(図1)。
2. 供試した3品種とも50%開花日を早く迎えたのは、固化培地の子葉時移植区で、最も開花が遅かったのは、メトロ培地で本葉4枚時移植区だった。移植時に葉枚数が少ない方が、開花が早くなる傾向がみられた(表1)。
3. 同じ移植期で培地間の生育を比較すると固化培地の方が草丈、株幅、最大葉身長が小さくなる傾向がみられた(表1)。最も草姿が小さくなった子葉区でも、出荷に問題となるほど小さくはなかった。
4. まとめ:葉の展開枚数が少ないほど開花日は早くなるため、移植は葉枚数2枚程度までで行う方が出荷までの在圃期間を短くできる。固化培地を使用する方が、草姿が小さくなる傾向が観察された。



図1 本葉4枚時の固化培地とメトロ培地の生育

表1 移植時の葉枚数が50%開花日と生育に及ぼす影響

品種名	培地種類	移植時の葉枚数	移植日 (月/日)	50%開花日 ^a (播種後日数) (月/日)	草丈 (cm)	株幅 (cm)	最大葉身長 (cm)
トゥルーブルー	メトロ	本葉2枚(慣行)	8/20	9/27 (56)	8.6	14.4	4.8
	メトロ	本葉4枚	9/3	10/6 (65)	8.5	16.1	5.2
		子葉	8/14	9/2 (56)	7.2	12.7	4.6
	固化	本葉2枚	8/20	10/2 (61)	7.0	13.3	5.0
	固化	本葉4枚	9/3	10/4 (63)	7.3	14.3	4.7
ピュア ゴールド イエロー	メトロ	本葉2枚(慣行)	8/20	9/30 (59)	7.1	13.6	4.2
	メトロ	本葉4枚	9/3	10/2 (61)	7.1	13.6	5.1
		子葉	8/14	9/20 (49)	6.3	12.5	4.3
	固化	本葉2枚	8/20	10/2 (61)	6.1	12.1	4.2
	固化	本葉4枚	9/3	10/1 (60)	6.7	13.4	4.4
ピュア オレンジ	メトロ	本葉2枚(慣行)	8/20	10/1 (60)	10.8	15.0	5.7
	メトロ	本葉4枚	9/3	10/7 (65)	10.0	14.4	5.7
		子葉	8/14	9/19 (48)	9.3	14.4	5.5
	固化	本葉2枚	8/20	10/1 (60)	9.3	14.1	5.5
	固化	本葉4枚	9/3	9/30 (59)	9.8	14.1	5.4

a) 開花調査は、初花開花日を調査日とした。1区10株2連制。

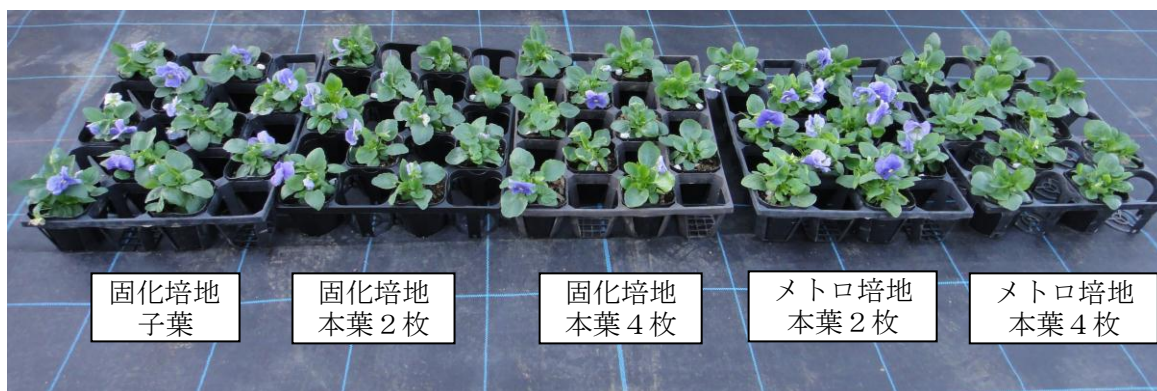


図2 移植時の葉枚数の違いが生育に及ぼす影響
(播種後60日の生育状況, 品種: トゥルーブルー)